



むつき
睦月

図書館だより

白保中学校図書館

令和6年1月11日(木)

目標：読書の幅を広げよう



あけましておめでとうございます



今年の干支は辰！辰年は、はいろいろな物が整い勢力を振るう年と言われています。

特に今年は、「^{きのすけ}申辰」で、努力すれば実りやすい年と言われているそうです。

3学期がスタートしました！卒業、進級するまでの3ヶ月間、自分自身を飛躍させる重要な時期です。3年生は受験に向けて、1、2年生は、進級に向けて目標を持って取り組んでいると思います。皆さんの夢や目標が実を結ぶ年になるといいですね。



新春書き初め大会



おめでとう

今年の課題

一年生「新たな決意」

二年生「生命の尊重」

三年生「友好の精神」

美文字賞

一年：多宇 正照

宮良 裕太

二年：宮良 獅童

東川平 義大

多宇 純之輔

三年：飯田 真白

佐藤 天来

筆使いに苦戦しながらも一筆、一筆、集中して書いている姿が印象的でした。作品は、図書館前の廊下に展示してあります。



新着図書案内



「お父さんはクーチューバー」
 浜口倫太郎：著/双葉社
 宮古島のゲストハウス「ゆいまーる」の娘、小学校5年生の海香は、絵を描くのが大好きで、将来は東京の美術大学に入りたいと思っていた。そんなある日、父親の勇吾が「クーチューバーになると宣伝した。宮古島の自然とゲストハウスに集う人々を通じて描く家族小説。

「ザンジバル球児に学ぶ世界を変える方法」
 上原拓：著/かもがわ出版
 「ベースボール」という単語さえ知らなかったザンジバルの子どもたちがタンザニアの甲子園を目指した日々。不十分な環境の中でも楽観的に心から野球を楽しむ子どもたちと生活様式も考え方も違うアフリカ文化の中で笑って泣いて怒って仲直りしながら成長していく日本人教師の奮闘記。



「勉強が面白くなる瞬間」
 パク ソンヒョク：著
 ダイヤモンド社
 受験大国、韓国で45万人が熱狂した秘伝の書。98.7%が「勉強したくなった」と証言！テクニックにこだわらないこれまでの常識を覆す勉強の本質が分かる！

「いつか君に会ってほしい本」
 田村文：著/河出書房新社
 「本を読みたいけど何を読んでいいかわからない。」
 「読書って退屈そう」と思っているあなたに会ってほしい158冊。



「頭のいい人が話す前に話していること」
 安達裕哉：著/ダイヤモンド社
 どれだけ考えても伝わらないと意味が無い。でも、話した方のスキルだけでは、人の心は動かせない。コンサルで叩き込まれたのは人の心を動かす思考の質の高め方。本書は「頭のいい人」が何をどう考えているのかを明確



「居場所をください」
 沖繩青少年自立援助センター ちゅらゆい：著
 世界書院：出版
 不登校児の自立をサポートするNPO法人が運営するkukul。そこに集まる子どもたちの悩みと貧困問題など自立までの実話を漫画で描く。

「まんがでわかる超一流雑談力」
 前山三都里：まんが/宝島社
 第一印象は会った瞬間に決まる。相手のリズムにシンクロして聞く。2度目の雑談でさらに距離を縮める。地方郵便局の窓口係の女性を主人公にしたまんがで雑談にまつわる悩みと原因と解決策のトレーニング法を紹介する。



「変な絵」
 雨穴（ウケツ）：著/宝島社
 45万部突破！ホラー作家兼YouTuberの雨穴氏による書き下ろし長編小説。あなたも何かがおかしい9枚の絵の「謎」がと解けますか？9枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の事実とは？その謎が解けたとき全ての事件が一つに繋がる。



「島守の塔」
 柏田道夫：執筆/現視社
 第二次大戦末期、住民を巻き込み壮絶な地上戦が行われた沖縄戦。沖縄県民を守ろうとする県知事島田叡と警察部長の荒井退造。そして沖縄戦に翻弄された人々の葛藤を描く。



「入れ子の水は月に轆かれ」
 オガニック ゆうき：著/早川書房
 理不尽な家庭から逃げ出し那覇の水上店舗通りに辿り着いた岡本駿。そこはガープ川を占拠してきたワンダーゾーンだった。駿は鶴子オバアと高齢のフリーター健さんと水難事故の謎をおく。沖縄の戦後史をテーマに描くグランドミステリー！

新しい本がたくさん入りました。
 いろんなジャンルの本を読んで読書の幅を広げましょう。